【学校教育目標】「確かな学力　豊かな心　健やかな体」
知・徳・体のバランスのとれた力を育くむ

伊岐佐小学校便り　No. 21
令和８年10月７日発行
文責　校長　梶原　康裕

キラ・ニコ・ドン・パッ

キラキラ輝く子ども　ニコニコ笑顔の子ども　ドンドン挑戦する子ども　パッと行動する子ども

今後の作業はすぐに終わりそうですが・・・

今週から、子供たちも一緒に銀杏拾いが始まりました。土日をはさんで月曜日の朝ですが、「あれっ？？」さほど、銀杏の実が落ちていませんでした。第２０号でお知らせしたように５年生が当番制で学年に割り振り銀杏拾いをするようにしていましたが、予定変更で毎週月曜日だけになりました。今はまだコンテナ１ケース分の収穫となっています。木を見上げると運動場側の木はところどころ実はついていますが、校舎側はほとんど実が見られません。やはり、今年の収穫量はかなり少なそうです。

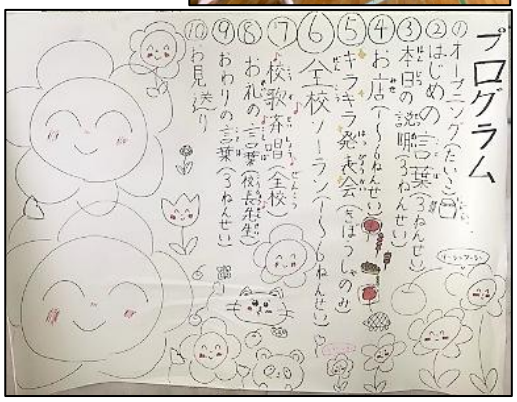




本番が楽しみになってきました

今週から伊岐佐あきまつりに向けて全校でのソーラン節の練習が始まりました。テンポが速い曲なので、「１,２,３年生はついてこれるのかな…」と思っていたのですが、想像していた以上に踊れていました。昼休みに体育館からソーラン節が流れてきました。体育館をのぞいてみると６年生の指揮で、低学年の希望者が練習していました。運動会でソーラン節を披露する学校が多くありますが、１～６年生の全員が披露できるのは、伊岐佐小の良さですね。また、先日の代表委員会でプログラムが承認されましたので、５・６年生が掲示用プログラムを書きました。以下、代表委員会で決まった役割です。





・招待状作り（３・４年）・ステージ飾り（１・２年）
・プログラム作り（５・６年）・放送 BGM（３・４年）
・司会進行（３年）・プレゼント作り（５・６年）

履きやすくなりました

以前、地域の方が学校に来られた時のことです。学校の備え付きスリッパを履いて階段を下りている時に、スリッパがするっと脱げてしまいました。また、ある時は「スリッパが脱げやすかけん、上履きば持ってきよるとよ」というお話を聞きました。実際に履いてみると、たしかに脱げやすいし、歩きづらい…。階段では、気を付けて下りないとすぐに脱げてしまう感じでした。来校者の方が転んでけがでもしたら大事になる！！ということで、スリッパを新調しました。クッション性があり、足の甲を包んでくれて、脱げにくくなりました。

